

西横浜に新しい風が立つ

県央・共生通信

第2号

今月のトピックス

- ・就労支援施設準備室です。
- ・みんなのみなとVoL.1 (建設経過報告)
- ・西区チャリティーイベント 報告
- ・新施設準備委員会ホームページ完成！
- ・編集後記

編集・発行元

横浜中部就労支援センター内

西区障害者就労支援型施設準備室

〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-3 横浜エムエスビル4F

TEL 045-350-2044 (担当：熊井)

MAIL satomi.kumai@tomoni.or.jp

ホームページ <http://www.14.ocn.ne.jp/~nisiyoko/>

しょうがい
横浜市西区障害者就労支援型施設準備室です。

横浜市西区障害者就労支援型施設準備室
室長 熊井 さとみ

こんにちは。横浜市西区障害者就労支援型施設準備室の室長の熊井です。準備室長をしつつ、県央地域就援助センターで、就労支援の仕事も行っていきます。平成21年4月開所（予定）に向けて、現在、日比野設計横浜事務所、石井建設工業さんをはじめ、大勢の方にご尽力頂いているところです。工事も順調に進み、基礎工事に入っています。振動等が発生しご近所の方にはご迷惑をおかけしているところですが、寛大なるご理解を頂き、感謝しております。私たち準備室でも、立派な建物に負けない、そしてご近所の方によかったね、と言って頂けるような施設を創るべく、現在検討中です。当施設は、法人の理念と基本方針に基づく西区障害者就労支援型施設（仮称）の基本計画に沿って、就労移行事業及び就労継続事業を行います。運営にあたっての考えをまとめてみました。

1. 一人一人の得意なことを発見し、生産活動につなげていきます。
働くことは社会での役割を担うことです。役割を果たすことで、達成感が生まれ社会の一員であることの実感が持てます。障害のある人にも「できること」を役割として担ってもらいながら、「できそうなこと」は工夫を凝らして「できること」に変えられるよう、支援していきます。そして、それぞれの得意なこと（できること）を生産活動につなげながら、作業の習熟度や社会適応力を高められるよう、支援していきます。高賃金を得るため、みんなで力を合わせて目標を達成させることで、働く意欲と喜びを高めていきます。
2. 就労支援は障害者の社会参加への啓発活動
一人の障害者が地域で働くことで、そこから様々な広がりがあります。会社で働くことによって、その同僚や上司との関係から、障害者でも働けるという意識をもってもらえます。時にはハプニングやトラブルもあるかもしれませんが、そんなときこそ、私たち支援者が、その人にまつわる問題解決策を提案し、一緒に考えるきっかけを作ることで、障害者の方への理解を深めていきます。
3. 個別支援計画に主体的に関われるような支援を
働くための意欲を高めるには一人一人のライフプラン(個別支援計画)を主体的に描くことが大切です。できる限り主体的に自分の暮らしを見つめ、組み立て、実行、実現できるよう支援していきます。
4. 地域との連携を大切に
就労支援はひとつの機関のみで完結しないことが多いサービスです。それは、暮らしということに直結する支援だからです。行政機関（ハローワーク・地域ケースワーカー等）、福祉関係機関、医療機関等との連携をとりながら、安心して地域生活を送ることができるよう、支援していきます。西区施設では、横浜共生会の地域活動ホーム、同じ県央の仲間である横浜中部就労支援センターという心強いパートナーが付いていますので、包括的な支援が期待できます。

さあ、皆さんが一番気になる「たてもの」に関する最新の情報をお届けする「みんなのみなと」が今号より連載スタートします！！
連載初回は、日比野設計横浜事務所の三輪さんにお話を伺いました。

Q. 今回の施設を設計するにあたり、どのような「想い」で設計されたか教えていただけますか？

A. 計画地の立地を生かした魅力ある施設づくりを目指しました。西区ならではの地域活動ホームおよび就労支援型施設としての特色を持たせると同時に、健常者、障がい者を問わず様々な人に利用して頂ける空間の創出を行いました。また、地域に根ざし、共に歩いていく施設づくりとユニバーサルデザインを取入れた空間づくりを心がけていきます。

Q. 現在の進捗状況は？

A. 現在、タワークレーンが組み上がって、土工事を進めているところです。現在は、「根切り（ねぎり）」が完了し、底に「捨てコン」を打設しています。

「根切り（ねぎり）」とは、基礎や地下構造物を造るために、地盤面下の土を掘削することをいいます。タワークレーンは、建設に必要な資材の運搬や移動を行うためのもので、大きな意味では躯体を立ち上げるために必要なものです。「捨てコン」は捨てコンクリートの略ですが、墨出し（位置出し）や、配筋等を行うための下地みたいなものです。



(現場の様子)

これからも皆様の期待に沿えるよう、建設現場の「生」の声をお届けいたします。「こんなこと書いて欲しい！」「こんなことが知りたい！！」などご質問等がありましたら編集担当：阿部 (h-abe@y-kyousei.or.jp) までご連絡下さい。

また、最新の建設進捗情報をお知りになりたい方は、日比野設計横浜事務所ブログをご覧ください。

西区チャリティーイベント 報告

映画「ヨコハマメリー」上映！！

2008年6月21日（土）

西区法人型障がい者地域活動ホーム建設資金のための募金活動として、映画【ヨコハマメリー】の上映が西区公会堂にて行われました。

前売り券もほぼ完売、当日券が50枚以上出るほどの好評をいただきました。メリーさんを通して、横浜の歴史を垣間見、そして、それぞれが人生について考えさせられたのではないのでしょうか？

また、地元横浜出身の中村高寛監督、写真家の森日出夫氏、タレントの清水節子氏のトークショーは、地元ならではのものばかり…この日限りのお話ということもあり、大変盛り上がりました。

ご来場の皆様には建設資金のための募金にもご協力いただきました。たくさんの方の温かい気持ちを感じられた一日でした。ありがとうございました。

次回、第3弾は米良美一さんのコンサートです。是非ご来場下さい。

お問い合わせは、西区社会福祉法人型障がい者地域活動ホーム 建設委員会（045-320-8400 西区役所サービス課）まで。



(トークショーの様子)

新施設準備委員会のホームページが出来ました。こちらでも通信が見られます。

また、最新の情報はこちらでご確認ください。

<http://www14.ocn.ne.jp/~nisiyoko/>

新施設準備委員会ホームページ完成！

7月に入り、またいろんな物が値上がりしました。この物価上昇は新しい施設建設へも影響を及ぼしています。建設資材も高騰しているからです。お金があればなあ…とつい思ってしまいますが、殺伐としたニュースが多い世の中、お金があっても心が満たされていなければ人間はダメな生き物なのだとしみじみ思います。まずは心豊かに！ですね。先日、一年ぶりに大好きな連載小説の新刊が発行され購入しました。「やっとキター！！」小さな喜びが大切。

ニコ